2024年度
大　学　院
学生募集要項

2024年度学生募集要項は、本学Webサイトでの公表となります。（冊子の配布は行っておりません。）
パソコンおよびスマートフォン・タブレットにてご覧ください。

名古屋芸術大学 Webサイト
www.nua.ac.jp

名古屋芸術大学 受験生サイト(大学院)
www.nua.ac.jp/examinee/entrance/postgraduate/

●大学院 音楽研究科 修士課程

●大学院 美術研究科 修士課程

●大学院 デザイン研究科 修士課程

●大学院 人間発達学研究科 修士課程

名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

目次

目次 …… 1
建学の精神 …… 2
アドミッション・ポリシー …… 3
志願者・受験者の個人情報の取扱いについて …… 3
障がいや疾病のある受験者への特別配慮 …… 3
入学試験の成績開示について …… 3
募集人員 …… 4
入試日程 …… 4
出願から入学手続きまで …… 5
STAGE 1 出願 …… 5
(出願を始める前に、出願方法、写真アップロード、入学検定料のお支払い方法、出願時の注意事項、Q＆A)
STAGE 2 受験の事前準備 …… 10
(受験票、受験票ダウンロード、受験当日の持ち物、宿泊施設の手配、感染症に関する注意事項)
STAGE 3 受験当日の注意事項 …… 12
(試験場、受験時の注意事項、受験当日における対応)
STAGE 4 合格発表 …… 14
(発表方法、インターネット合否照会、追加合格)
STAGE 5 入学手続 …… 15
(学納金、その他の納付金、奨学金、特待生制度、入学辞退について、新入生の学籍取得期日)
出願資格 …… 17
在留資格「留学」の取得について …… 17
出願資格審査 …… 18
出願書類 …… 19
音楽研究科　修士課程 …… 20
選抜区分と選抜方法 …… 20
教育課程 …… 24
美術研究科　修士課程 …… 27
選抜区分と選抜方法 …… 27
教育課程 …… 29
デザイン研究科　修士課程 …… 30
選抜区分と選抜方法 …… 30
教育課程 …… 32
人間発達学研究科　修士課程 …… 33
選抜区分と選抜方法 …… 33
教育課程 …… 34
問い合わせ先

建学の精神

「至誠奉仕（しせいほうし）」

「誠実な心で、子どもを含む様々な人に接するとともに、自らの学問や技術を伸長させることで芸術や教養、教育・保育の力を養い、これをもって社会と文化に貢献する」

■大学院の目的

名古屋芸術大学大学院（以下「本大学院」という）は、芸術の理論及び応用並びに人間発達の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。

■大学院の教育理念と目標

本課程は、芸術及び人間発達について自立して創作、研究活動を行うことができる芸術家、研究者等の専門的職業人として、社会で幅広く活躍できる人材を育成し、国内外の芸術文化の発展及び社会に貢献する。

■研究科の目的

- **音楽研究科**
  学士課程における音楽芸術の基礎教育からさらに高度な専門的探求を目指し、音楽芸術の創造発展に寄与する専門家を育成する。
- **美術研究科**
  学部教育で修得した技能と芸術理念にもとづき、創作に関する、より専門的・体系的研究を行い、高度の作品（論文を含む）に結晶させることを目指すことで、次代を担う美術研究者を育成する。
- **デザイン研究科**
  学士課程でのデザイン教育を踏まえ、より高い専門的機能に携わるための知識と技能の習得を目指し、『多様なフィールドで次代をリードできる人』を育成する。
- **人間発達学研究科**
  幼児・初等教育及び発達支援の分野に関わる総合的・学際的な教育研究を通して地域社会に貢献できる高度な専門的職業人を育成する。

■研究科の教育理念と目標

- **音楽研究科**
  研究科における高度な専門教育と自立した研究活動を通じ、音楽芸術の研究者・芸術家として幅広く活躍できる人を育成し芸術文化の発展および社会に貢献する。
- **美術研究科**
  研究科における高度な専門教育と自立した研究活動を通じ、美術の専門的機関等で幅広く活躍できる人を育成し芸術文化の発展および社会に貢献する。
- **デザイン研究科**
  研究科における高度な専門教育と自立した研究活動を通じ、デザイン分野の研究者・デザイナーとして幅広く活躍できる人格の形成を目標とし、芸術文化の発展および地域・社会に貢献する。
- **人間発達学研究科**
  幼児・初等教育および発達支援に関する諸問題の探究・解決に資する高度な専門的能力と感性を備えた職業人を育成し、健やかな子どもの成長の保証を通して地域・社会に貢献する。

名古屋芸術大学（大学院）Webサイト　www.nua.ac.jp/faculty/postgraduate/

アドミッション・ポリシー

- **音楽研究科**
  学士課程における音楽芸術の基礎教育から、より高度な専門性を探求し、社会における音楽芸術の創造・発展に寄与する人を求める。
- **美術研究科**
  美術の社会に対する可能性と創造的価値を踏まえ、真理の探求とともに美術における未来への貢献を志す人を求める。
- **デザイン研究科**
  デザインの広域に及ぶ可能性と、創造的価値を踏まえて、同時代から未来へ貢献することを志し、独自の研究テーマを持った人を求める。
- **人間発達学研究科**
  今日の社会状況に置かれた子どもへの関心と問題意識をもち、幼児・初等教育あるいは発達支援の研究および実践を通して地域社会に貢献する強い意志をもつ人を求める。

志願者・受験者の個人情報の取扱いについて

出願時に提供された志願者個人情報（氏名、住所等）は、本学における出願処理、出願内容確認等の場合の連絡、入学試験の実施、合格発表、合格された場合の入学手続関連書類の送付、合格者の入学後の教務・学生支援関連事務（学籍や健康管理、奨学金申請等）や授業料等に関する業務、及び入学試験の改善や志望動向調査・研究を行うために利用いたします。

なお、出願内容について不備等があった場合、その確認や訂正・補完を速やかに行っていただく便宜から、志願者本人が本学を受験されること、及び志願者自身の出願内容について不備等があったことを志願者の保護者等または志願者の出身（所属）学校に問い合わせる場合があります。

上記の業務は、その一部を名古屋芸術大学より当該業務の委託を受けた会社（以下、「受託会社」といいます。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託会社に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがありますので、予めご了承ください。

以上のことについて、本学への出願手続きを完了した時点で、志願者は上記事項を理解し、同意いただいたものとみなします。

障がいや疾病のある受験者への特別配慮

本学に入学を志願する者で、障がいや疾病を有する等、受験上及び修学上、特別な配慮を必要とする場合は、必ず受験しようとする試験日の３週間前までに、申請書（任意の様式）及び「医師の診断書」、「障がい者手帳」のコピー等を広報部学生募集チームまで提出してください。なお、必要な場合には、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身（所属）学校関係者等との面談を行います。

〔申請書（任意の様式）記載事項〕
氏名、住所、電話番号、志望研究科・専攻名、障がいや疾病の種類、受験及び修学に特別な配慮を希望する内容、その他参考となる事項

入学試験の成績開示について

名古屋芸術大学では、入学試験受験者本人から請求があった場合に限り、本人が受験した入学試験の結果を開示します。開示を希望される場合は、郵送のみの受付けとなりますので、以下の要領でお申し込みください。

1. 開示対象	「筆記試験」における科目別得点 「小論文」の得点
2. 開示申請期間	2024年4月8日（月）～5月10日（金）〔最終日消印有効〕
3. 開示方法	開示請求のあったものについて、一括処理後、郵送で出願時記載の住所に送付します。（2024年5月末予定）。転居等により出願時記載の住所と異なる場合は、現住所の住民票の写しを同封してください。
4. 申請者	受験者本人に限ります（代理人申請は不可）。本人確認のため、身分を証明する書類のコピー※を同封してください。 ※氏名と生年月日が示されている書類（例：健康保険証、各種免許証、学生証など） ・提示していただいた個人情報は申請者の本人確認の目的にのみ使用します。
5. 申込方法	次の書類を任意の封筒に入れ、表面に「入学試験成績開示請求」と朱書きのうえ、「簡易書留」にて送付してください。 ● 開示を希望する試験区分を明記した書類（任意様式） ● 返信用封筒（長形3号 12cm×23.5cm） ※ 434円分の切手（簡易書留料金含む）を貼り、郵便番号、住所、氏名を記入してください。 ● 住民票の写し ※ 送付先が出願時記載の住所と異なる場合に必ず同封してください。
6. 書類の送付先・問い合わせ先	〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地 名古屋芸術大学広報部学生募集チーム　TEL 0568-24-0318

募集人員

研究科名	専願 併願	期	募集 定員	募集内訳
音楽研究科	併願	エキスパート選抜 一般選抜1期 一般選抜2期	19名	声楽専攻(声楽)5名
				器楽専攻 (ピアノ、電子オルガン、弦楽器、管楽器、打楽器)合計6名
				音楽学専攻 (芸術文化創造、音楽療法、アートマネジメント、作曲)各2名
美術研究科		エキスパート選抜 一般選抜1期 一般選抜2期	10名	美術専攻　10名
デザイン研究科		エキスパート選抜 一般選抜1期 一般選抜2期	10名	デザイン専攻　10名
人間発達学研究科		エキスパート選抜 一般選抜1期 一般選抜2期	10名	子ども発達学専攻　10名

入試日程

期間:2024年1月～2024年3月

研究科名	選抜／期	インターネット 出願登録期間	出願書類 郵送期限	**試験日**	合格 発表日	入学手続 締切日
音楽研究科 美術研究科 デザイン研究科 人間発達学研究科	エキスパート選抜 一般選抜1期	1/5(金)10:00から 1/23(火)17:00まで	1/24(水) 〔消印有効〕	**2/3(土)**	2/9(金)	2/27(火)
	一般選抜2期	2/21(水)10:00から 3/7(木)17:00まで	3/8(金) 〔消印有効〕	**3/20(水)**	3/22(金)	3/27(水)

※出願資格9.又は10.による志願者は、事前審査を受ける必要があります。(詳細は「出願資格審査」項目をご確認ください。)

出願から入学手続まで

STAGE 1　出願

インターネットによる出願のみとなります。出願期間内に本学Web上で出願登録を行い、出力した「提出用書類」(出願確認票・送付ラベル)とともに志願先に応じた出願書類等を郵送する出願方法です。

※自宅にパソコン・インターネット環境がない場合は本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕までお問い合わせください。

インターネット出願を始める前に

利用環境の確認

推奨環境

〈Windows10、Windows11〉　● Microsoft Edge 111.0 以降
● Google Chrome 111.0 以降
〈Mac〉　●macOS 13.3　Safari 16.4 以降
〈スマートフォン・タブレット〉　●iOS 16.4　Safari 16.4 以降
●Android 13.0　Google Chrome 111.0 以降
※ポップアップブロックを無効に設定してください。

推奨WEBブラウザ以外のブラウザをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。
本サイトのインターネット出願ではcookie(クッキー)およびJavaScriptを使用しています。
ご使用のブラウザの設定画面にて、cookieおよびJavaScriptを「有効にする」に設定してください。
Androidスマートフォン・タブレットをご使用の場合は、ご使用機種の標準ブラウザでは提出用書類(PDF)がダウンロードできない場合があります。Androidスマートフォン・タブレットのブラウザはChromeをご使用ください。

PDF

学生募集要項、「出願書類(本学所定様式)」、出願登録後の「**提出用書類**」・「**受験票**」はPDFまたはGoogleDocsで表示されます。
※PDFで文書をご覧いただく場合は、アドビシステムズ社のAdobe Readerが必要です(無償)。
　ご利用のパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、最新版をインストールしてください。
※スマートフォン、タブレットでご覧いただいている場合は、GoogleDocsでの表示を推奨しています。
　(閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは必要ありません)

プリンター

出願登録後の「**提出用書類**」や「**受験票**」を印刷するためにプリンターが必要です。
ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。
必ず**A4用紙に印刷**してください。
※プリンターをご使用できない環境の場合、「**提出用書類**」・「**受験票**」はPDF形式で表示されますので、PDFファイルを保存し、保存したファイルを別途印刷してください。

メールアドレス

志願者情報登録時にメールアドレスの入力が必須となります。出願登録等のお知らせメールをお送りします。
※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。
　(@nua.ac.jp)および**(@sak-sak.net)**を受信可能なドメインとして設定してください。
※登録したメールアドレスは、原則、変更できませんので、出願から入学手続および入学するまで受信可能なものを使用してください。

顔写真

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ(JPEG形式)をご用意ください。
・本人のみが写っていること
・3か月以内に撮影されていること
・上半身、無帽、正面向きであること
・本人の顔がはっきり確認できること
・人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること。
・カラー写真であること。

個人情報の取り扱いについて

インターネットでの出願登録の際に、志願者情報として氏名・住所・生年月日などの個人情報を収集します。個人情報の取り扱いについて同意のうえ出願をはじめてください。
〈個人情報の利用目的〉
ご利用者の個人情報の取扱いについては「志願者・受験者の個人情報の取扱いについて」をご覧ください。

インターネット出願方法

インターネット出願を行う場合は、Step1・Step2・Step3 の手順で申込みを行ってください。検定料のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。

Step1 インターネット出願登録

1 インターネットで出願登録ページにアクセス　(URL)https://sak-sak.net/app/nua/

本学Webサイトからアクセスしてください。

2 試験情報の登録

出願を希望する試験を登録します。

3 志願者情報の登録

氏名・住所・電話番号等を登録します。**※顔写真データのアップロードが必要です。**（JPEGデータを事前にご用意ください。）

- **ユーザID**（半角英数字8文字以上。入力したアドレスをIDとすることもできます。）
- **パスワード**（半角英数字併せて8文字以上。）

※ユーザID・パスワードは「出願状況確認」「受験票ダウンロード」等で必要となりますので忘れないように各自で管理してください。

4 提出用書類の印刷

提出用書類を印刷します。

5 お支払い方法の選択

現金支払い（コンビニ、ATM決済（ペイジー）、ネットバンキング）またはクレジットカード支払いを選択します。

※現金でお支払いの場合は、インターネット出願登録後にお支払いを行い、領収書をお受取りください。（Step2へ）
クレジットカードでお支払いの場合は、お支払い完了画面が表示された後、必要書類の送付を行ってください。（Step3へ）

お支払い方法

- 現金でお支払い
  - 現金でのお支払い方法を選択
  - お支払い受付番号の発行
  - Step2 検定料のお支払い
- クレジットカードでお支払い
  - お支払いのカードを選択
  - お支払いの完了
  - Step3 必要書類の送付

クレジットカードでお支払いの場合は、以下の支払い方法がご利用できます。

VISA　mastercard　JCB　AMERICAN EXPRESS　Diners Club INTERNATIONAL

Step2 検定料のお支払い(現金でお支払いの場合)

現金でお支払いの場合は、以下の支払い方法がご利用できます。

- コンビニエンスストア：LAWSON　MINI STOP　あなたと、コンビに、FamilyMart　7-ELEVEN　Daily　Seicomart → 領収書
- ATM決済（ペイジー）：ゆうちょ銀行　Pay-easy
- ネットバンキング：PayPay 銀行　Rakuten 楽天銀行 → 明細票

サポートページ

https://www.veritrans.co.jp/user_support/

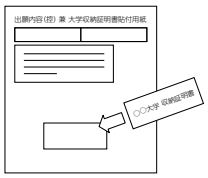
ご利用になられるお支払い方法の手順で、検定料のお支払いを行い、**領収書(明細票)をお受け取りください。**領収書(明細票)のコピーは提出用書類に貼り付ける必要があります。

※現金でのお支払い方法の手順については、次ページ以降に記載しております。

Step3 必要書類の送付（出願登録後に出力した「送付ラベル」を使用し、角2サイズ以上の封筒で郵送）

1 領収書（明細票）のコピーを提出用書類に貼り付ける

現金でお支払いの場合は、検定料のお支払い時（Step2）に受け取られた領収書（明細票）のコピーを提出用書類（Step1）に貼り付けてください。



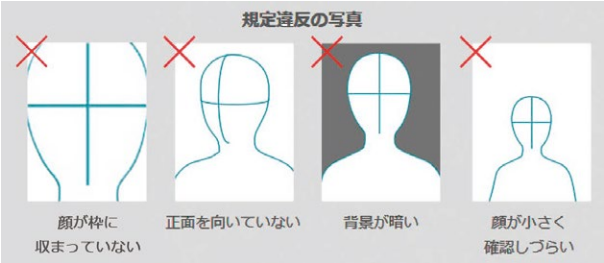
※クレジットカードまたは、セブンイレブンおよびデイリーヤマザキでお支払いの場合は領収書（明細票）のコピーは不要です。

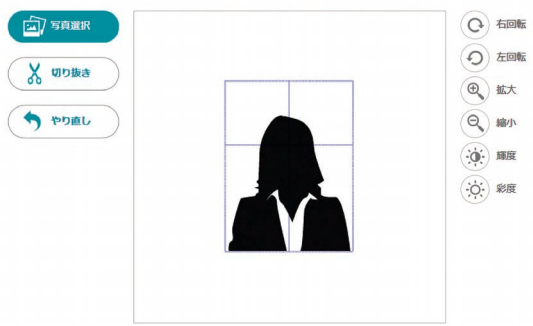
2 提出用書類、調査書等の必要書類を郵送する　※必要書類については、各試験区分の要項でご確認ください。

写真アップロード

インターネット出願登録時に、顔写真をアップロードする必要がありますので、事前に顔写真データ（JPEG形式）をご用意ください。

- 本人のみが写っていること
- 3か月以内に撮影されていること
- 上半身、無帽、正面向きであること
- 本人の顔がはっきり確認できること
- 人物の背景は何も写っておらず、白または薄い色であること
- カラー写真であること





写真データ（JPEG形式）を選択後に、上記規定のとおりレイアウト枠内に収まるように、左右回転／拡大縮小／輝度／彩度を調整してください。
サイズが一致しない場合は「切り抜く」ボタンをクリックして画像サイズを変更してください。

入学検定料のお支払い方法

現金でのお支払いについては、インターネット出願サイトの「支払方法選択」から、次のご希望のお支払い方法をお選びください。

―コンビニエンスストア―

※コンビニエンスストアをご利用の場合は、30万円を超えるお支払いはできません。

お近くのお店でお支払い

LAWSON　ローソン	ミニストップ
あなたと、コンビに、FamilyMart　ファミリーマート	Seicomart　セイコーマート
セブン-イレブン	デイリーヤマザキ

―ＡＴＭ決済（ペイジー）―

※ATMで現金でのお支払いの場合は、10万円を超えるお支払いはできません。

ゆうちょ銀行　ゆうちょ銀行	Pay-easy（ペイジー）

入学検定料

全入学試験	**1出願につき、15,000円**

支払方法はクレジット決済またはコンビニエンスストア、ペイジー（銀行ATM）での支払いとなり、事務手数料として1出願あたり別途517円（1出願で入学検定料合計金額が30,000円を超えると1,122円）がかかります。

出願時の注意事項

1. インターネットで出願登録を行います。次に入学検定料を支払い、出願確認票とともに提出が求められているものすべてを出願書類郵送期限までに郵送することで出願が完了します。
2. 入力を間違えた場合、入金がなければ無効になるため、再度出願し直してください。また、パソコンやインターネットの状態により登録途中でエラーになった際は、クレジット決済等の入学検定料決済が済んでいるかの確認を必ず行ってください。
3. スマートフォン等からの出願登録については、一般的な機種では動作を確認していますが、一部の機種では正常に登録できない可能性がありますので、できるだけパソコンを利用して推奨環境で出願してください。
4. 登録したメールアドレスは、登録完了、入金完了の確認、受験票PDF 取得通知等のメール送信のために使用します。**出願時に「メールアドレスの送信確認」を必ず実行**し、本学からのメールが確実に受信できることを確認のうえ登録を行ってください。
   ドメイン：(@sak-sak.net) および (@nua.ac.jp)
   なお、メールが届かない場合は、本学広報部学生募集チーム〔TEL：0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。
5. 入学検定料の支払い後は、出願登録内容（試験日程や専攻等）の変更は一切認めません。
6. 一旦納付された入学検定料及び受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
7. いかなる場合も本学から領収書の再発行はしませんので、領収書は大切に保管してください。
8. 出願書類に不備・不足がある場合は、出願受付ができない場合があります。
9. 顔写真が不鮮明であった場合は、再提出をお願いすることがあります。
10. 出願書類に虚偽の記載があることが判明した場合には、合格または入学を取り消します。

インターネット出願　Q&A

1. 利用環境について

スマートフォン、携帯電話、タブレット端末から出願できますか？

パソコン環境のご利用を推奨しています。

スマートフォン、タブレットはご利用できますが、PDFファイルの印刷環境を準備してください。携帯電話からはご利用できません。

ボタンをクリックしても反応しません。または、次の画面で正しい内容が表示されません。

*cookie（クッキー）の設定が有効になっていますか？

cookieを使用しているため、必ずブラウザの設定を「cookieを受付ける（有効にする）」にしてください。

*JavaScriptが有効になっていますか？

JavaScriptを使用しているため、必ずJavaScriptを有効にしてください。

メールアドレスはスマートフォンや携帯電話のものを使えますか？

スマートフォンや携帯電話のメールアドレスもご利用いただけます。

ただし、メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがありますので、ドメイン（@sak-sak.net）および（@nua.ac.jp）を受信する設定にしてください。

メールアドレスを持っていません。

出願登録時にメールアドレスの入力が必須となりますので、使用可能なメールアドレスをご準備ください。

メールアドレスは登録完了、入金完了の確認メールおよび、受験票PDF取得通知のメールを送信するために使用します。

また、IDやパスワードを忘れた際に志願者情報を入力することで、登録されたメールアドレスに現在登録されているIDまたは自動設定された新しいパスワードが送信されます。

自宅にプリンタがありません。

自宅にプリンタがない場合は、記憶媒体（USBメモリなど）に保存してコンビニエンスストア等で印刷をしてください。

2. web出願について

途中でブラウザを閉じてしまいました。

セキュリティ対策として、入力途中の状態をブラウザに保持しておりません。初めから出願登録をやり直してください。

「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。

セキュリティ対策として、一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。初めから出願登録をやり直してください。

氏名、住所に正しい漢字が登録できません。

旧字やJIS第2水準外の文字等で正しく変換できなかったり、入力エラーになる場合は代替文字（全角）を入力してください。

例）髙→高、﨑→崎、Ⅲ（ローマ数字）→3

なお、入学後に提出いただく書類に正しい漢字で記入いただくことで変更することができます。

提出用書類を印刷し忘れました。

再印刷画面より出願受付番号とパスワードを入力していただければ、再印刷が可能です。

出願登録後に登録内容を変更することはできますか？

*最終確認画面で「申込」をクリックする前の場合

入力した情報を変更することができますので、「戻る」ボタンで画面を戻って変更してください。

*完了画面まで進んでいる場合

【コンビニエンスストア、ペイジー決済の場合】

入学検定料の決済が完了していない場合は、再度出願登録からやり直してください。

入学検定料の決済が完了している場合は変更できません。

【クレジットカード、ネットバンキング決済の場合】

入学検定料の決済が完了していますので変更できません。

申込をキャンセルしたいのですが。

入学検定料の決済前であれば、そのまま決済しなければ、出願期間を過ぎると自動的にキャンセルとなります。

入学検定料の決済後の場合は、キャンセルすることはできません。

個人情報を誤って登録してしまいました。

【入学検定料支払い前の場合】

現在の登録はそのままにして、再度出願登録からやり直してください。

【入学検定料支払い後の場合】

印刷した出願確認票の訂正箇所に二重線を引き、空いているスペースに正しい内容を赤ペンで記入してください。

入試種別、志望学部の変更・取消はできませんので、ご注意ください。

STAGE 2 受験の事前準備

受験票 ※本学からの受験票送付はありません。

受験票には、「受験番号」「試験日」「試験場」「集合場所」「集合時間」等が記載されます。
受験票はインターネット出願時に出力が求められる受験票（PDF）を出力のうえ、試験当日必ず持参してください。なお、受験票を持参しない場合は受験できない場合があります。また受験票を紛失または忘れた場合は、試験場にて係員に申し出てください。

受験票ダウンロード

提出書類を本学で確認後に、受験票PDFをダウンロードしていただきます。〔本学からの受験票の送付はありません。〕
インターネット出願登録時に登録するユーザIDとパスワードを忘れないようにしてください。

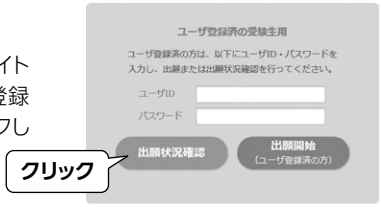
受験票取得（確認）期間※

研究科	選抜／期	受験票取得可能日
音楽研究科 美術研究科 デザイン研究科 人間発達学研究科	エキスパート選抜 一般選抜1期	2024/1/29(月) 10:00～
	一般選抜2期	2024/3/16(土) 10:00～

※ 受験票取得可能日から入学手続締切日までダウンロードが可能です。

1 インターネット出願サイトにアクセス

受験票PDFダウンロード通知メールを受け取ったら、インターネット出願サイトのトップ画面右下にある**「ユーザ登録済の受験者用」**欄に、出願登録時に登録した**「ユーザID」**と**「パスワード」**を入力し、**「出願状況確認」**ボタンをクリックしてログインしてください。



2 受験番号を確認

出願登録した日時を確認し、出願受付番号欄に記載されている、**「出願受付番号」**をクリックして出願状況詳細を表示し、受験番号欄に記載されている受験番号を確認してください。

3 受験票を印刷

出願状況詳細に表示されている受験番号欄の右側にある**「印刷」**ボタンをクリックし、受験票PDFをダウンロードします。
ダウンロードした受験票PDFは、確実に印刷し、**試験当日に持参**してください。

※正しく印刷されない場合
推奨環境以外で印刷を行うと、正しく表示がされない場合がございますので、推奨環境の設定をお願いいたします。
※ユーザID、パスワードを忘れた場合
利用案内画面の「ユーザIDを忘れた方はこちら」、「パスワードを忘れた方はこちら」を参照してください。

受験当日の持ち物

●受験票

折り曲げても差し支えありませんが、濡れたり（雨天時等）破損したりしないよう心掛けてください。

●筆記用具

HBの黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスティック消しゴム

※特別に指定していない限り、下敷き、辞書、電子機器類の使用は認めません。

●時計

時計以外の機能が付いたものの使用は認めません。（スマートウォッチ、ウェアラブル端末や辞書、電卓の機能が付いているもの）。また、スマートフォン（携帯電話）や目覚まし時計、キッチンタイマー等を時計として使用することはできません。

●昼食

必要に応じて持参するようにしてください。なお、試験当日は試験場の食堂は営業していません。また、ゴミは必ず持ち帰ってください。

●楽器や作品、課題等、入学試験当日に必要なもの。または持参の指示があったもの

各研究科・専攻における選抜に必要なものについては、受験する選抜方法を各自確認のうえ忘れないよう持参してください。

※筆記用具や時計の貸し出しは行いません。また、耳栓は試験監督者の指示が聞き取れない場合があるため、使用は認めません。なお、ハンカチ、ティッシュペーパー、座布団、ひざ掛け、目薬の使用を希望する場合は、あらかじめ試験監督者の許可を得てください。

宿泊施設の手配

本学受験のために宿泊を希望される場合は、本学Webサイトから本学が斡旋している宿泊先の情報をご覧ください。

その他、各旅行代理店やインターネットの宿泊ナビサイト等を利用のうえ各自でご予約されるようお願いします。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者への感染のおそれがありますので、受験を遠慮願います。

ただし、病状により学校医その他の医師から伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により、受験を遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。

STAGE 3 受験当日の注意事項

試験場

●試験場は受験票に記載されますので、確認のうえ、間違いのないようご注意ください。
試験場は原則、名古屋芸術大学東キャンパス［愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地］または、名古屋芸術大学西キャンパス［愛知県北名古屋市徳重西沼65番地］となりますが、諸事情により別の施設を試験場として設定する場合もありますので必ず受験票及びメール通知にてご確認ください。
※東西両キャンパスとも最寄り駅は名鉄「徳重・名古屋芸大」駅です。普通（各駅停車）電車しか停車しない駅ですので、名鉄電車利用の際にはしっかり確認して乗車するようにしてください。
※名古屋市内には「徳重」という地下鉄の駅があります。このため、タクシー等乗車の場合、正しく行先を告げなかったため、本学とは異なる地域に搬送された例がありました。タクシー等乗車の場合は、正しく目的地を伝えるよう気をつけてください。
※試験場を間違えた場合は、間違えた試験場での受験はできませんのでご注意ください。

受験時の注意事項

1. 公共交通機関による試験場へのアクセスは事前に各自で確認のうえ、時間に余裕をもって来場してください。なお、自動車による送迎は、必ず指定の駐車場をご利用ください。
2. 試験当日は試験場の誘導掲示等に従い、指定された試験室に入室してください。また、筆記、記述の選抜内容を受験する場合、試験室では机の上に貼られている受験番号シールが自分の受験票に記載されている受験番号と同一であることを確認のうえ着席してください。
3. 受験票を忘れた場合や紛失した場合は、必ず係員に申し出て指示を受けてください。
4. **試験当日の遅刻限度は、試験開始後20分まで**です。試験開始後20分を過ぎた遅刻者は、当該試験の受験は認めません。なお、公共交通機関の遅れによる遅刻の場合は、公共交通機関窓口（駅など）で「遅延証明書」を受け取り、係員に提出してください。自動車を利用した場合の交通渋滞などによる遅刻は一切認めません。
5. 特別に指定している場合を除き、試験室入室の際、スマートフォン（携帯電話）等の通信機器類は必ず電源を切ってください。万一、試験時間中に鳴動した場合、試験監督者が所有者の同意がないまま試験室外へ持ち出し、試験終了まで本学が保管する処置をとる場合があります。
6. 受験者の付き添い者は試験室へは入室できません。試験終了までお待ちになる場合は所定のスペースをご利用ください。
7. 試験開始から試験終了まで試験室からの退室は認めません。なお、試験中の発病、または用便等やむを得ない場合は、すみやかに試験監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長は一切行いません。
8. 試験前日等に試験場の下見は可能ですが、試験室内は見ることができません。
9. 試験当日は、気候気温に応じて空調稼働しますが、体感温度には個人差がありますので、調整しやすい服装を心がけてください。
10. 受験時は、すべて試験監督者の指示に従ってください。なお、以下の行為は不正行為とみなし、受験そのものを取り消すとともに入学検定料も返還しません。
    - ・カンニング（カンニングペーパー、関連書籍の閲覧、他の受験者の答案等を見る行為）をすること
    - ・受験者以外の者が、受験者本人になりすまして受験すること
    - ・解答を教えるなど、他の受験者に有利となるような行為をすること
    - ・使用を認められていない用具を使用して解答すること
    - ・試験の開始や終了の指示など、試験監督者の指示に従わないこと
    - ・特別に指定している場合を除き、試験時間中に**電子機器類**（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）や、**補助具**（コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等）を身に付けていたり、手に持っていること
    - ・その他、試験の公平性や試験中の静寂性を損なうような行為をすること
11. イヤホンについて、耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。 試験時間中、病気・負傷や障がい等により補助器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。（「障がいや疾病のある受験者への特別配慮」参照）
12. 筆記、記述の選抜内容を受験する場合、英語の文字や地図、漢字の表記がプリントされている衣服は着用しないでください。試験当日着用していた場合は試験監督者の判断により、脱衣もしくは当該部分を覆う等の指示や処置を行う場合があります。
13. 試験当日、試験場周辺には、合否確認を代行するとか、不動産物件を紹介するというようなことで声を掛けてくる私設業者がいることがあります。そうした業者は本学とは一切関係のない業者ですので、トラブル等に発展しないよう十分お気をつけください。なお、万一トラブルになっても本学は一切責任を負いません。
14. 試験当日、気象警報が発令されていた場合でも予定通り入学試験は行います。試験日時の変更や試験の開始・終了時刻の変更措置を取る場合は、本学Webサイトにてお知らせします。なお、受験に必要な費用（試験場までの旅費交通費や食事代等）は、いかなる理由があっても受験者本人が負うものとします。また、本学から緊急の連絡をする場合がありますので、入学試験当日まで登録したメールアドレスの受信確認及び電話連絡がつくようにしておいてください。

15. 感染症対策の観点から試験実施時期における感染症の流行状況等を踏まえ、以下の内容についてご協力ください。
①試験場内（試験室や面接待機室等）では適宜、空気の入れ替えを行います。
②試験場内に複数設置されている手指消毒液等の利用や手洗い等、こまめに実践してください。
③その他感染拡大防止に関する試験場内での措置等（体温確認や手指等の消毒等）にご協力ください。

受験当日における対応

本学は、入学試験の実施に際し、公平で良好な受験環境の保持に最大限努めますが、やむを得ず以下のような対応を取る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 不測の事態（地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延、校内施設の故障等）の発生により、試験開始時刻の繰り下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、そのための休憩時間の調整などの措置をとることがあります。その場合、本学の責によらない不可抗力による事故等であることが明らかな場合は、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
2. 試験室内の設備（机、いす、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮しません。
3. 試験時間中に日常的な生活騒音が発生した場合でも、特別な救済措置は行いません。
例：緊急車両のサイレン、風雨・雷鳴、動物の鳴き声、空調や照明など設備が発する音、咳やくしゃみ など
4. 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な打合せや指示、説明、巡回を行うことで生じる音等に対する申し出には一切応じません。
5. 特定の受験者の行為が、他の受験者に迷惑であると試験監督者が判断した場合は、受験の中止や別室受験等の指示を講じることがあります。

STAGE 4 合格発表

発表方法

〔郵送通知〕

合格者には合格発表日に合格通知書および入学手続に必要な書類一式をレターパックで発送します。不合格者には通知書を送付しませんので、あらかじめご了承ください。

〔インターネット合否照会〕

本学の公式な合格発表は、合格通知書の発送によるものとしますが、合格発表の補助手段として、インターネットによる合否照会を合格発表日の午前10時から行います。掲載期間は合格発表日から入学手続締切日までです。

※合格発表の学内掲示は行いません。また、合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

インターネット合否照会

合否照会サービスの利用期間	各試験合格発表日の午前10時から入学手続期限日まで

1 パソコン・スマートフォン・タブレットで合否照会ページにアクセス（※本学Webサイトからもアクセスできます）

https://sak-sak.net/app/pass/nua/

（スマートフォン用）

2 受験番号と生年月日の入力

受験番号と生年月日を入力し、
「合否照会」ボタンをクリックしてください。

3 合否の確認

【合格の場合】

【不合格の場合】

注意事項等

・利用時間は各種試験別ごとに定めてあり、期間外には見ることができません。
・サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。
・パソコン等の性能やインターネットへの接続方法などで、表示に時間がかかる場合があります。
・操作方法ならびに合否の結果に関し、電話でのお問い合わせには応じかねます。
・パソコン等のブラウザーの設定によっては、画像のずれ・文字化けなどが発生する場合があります。その場合はブラウザーを調整してください。
・画面はイメージです。実際の画面とは異なります。
【合否照会について】 ●当サービスでの合否照会は速報であり、合格者には本人宛に正式な合格通知書を送付します。
●本システムでの「誤動作」「見間違い」等を理由とした入学手続きの遅れは認められません。

追加合格

1. 本学は、入学手続者が入学予定者数に達しない場合に、入試の成績結果により追加合格を発表する場合があります。追加合格者の発表方法は、原則として対象者に電話連絡をもって行います。
2. 追加合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類一式をレターパックで郵送します。
3. 入学手続の詳細については、合格通知書とともに送付する書類を参照してください。
4. 追加合格については、本学Webサイトや学内掲示等による発表は行いません。また、追加合格の合否結果や入試成績等に関する問い合わせには一切応じません。

STAGE 5 入学手続

合格者には、合格通知書とともに入学に必要な手続書類一式を送付します。それぞれの手続書類に従って入学手続を行ってください。なお、学納金納入期限は「入試日程」に記載されている「入学手続締切日」のとおりです。期日までに納入手続を完了してください。完了されていない場合は、入学辞退とみなします。

学納金

（2024年度入学者用／単位：円）

研究科	入学金	前期納付金				後期納付金				初年度納付金合計
		授業料	実習費	教育充実費	合計	授業料	実習費	教育充実費	合計	
音楽研究科	**150,000**	520,000	45,000	210,000	**775,000**	520,000	45,000	210,000	**775,000**	**1,700,000**
美術研究科	**150,000**	328,000	45,000	225,000	**598,000**	328,000	45,000	225,000	**598,000**	**1,346,000**
デザイン研究科	**150,000**	328,000	45,000	225,000	**598,000**	328,000	45,000	225,000	**598,000**	**1,346,000**
人間発達学研究科	**150,000**	240,000	45,000	200,000	**485,000**	240,000	45,000	200,000	**485,000**	**1,120,000**

※学校法人名古屋自由学院が設置する大学院等（名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学、名古屋芸術大学短期大学部及び名古屋芸術大学保育専門学校）に在籍したことのある者（科目等履修生・研究生・研修生は除く。）は入学金が免除されます。
※**入学金**及び**前期納付金**は入試日程の「入学手続締切日」までの納付、後期納付金は2024年10月下旬の納付です。

その他の納付金

（2024年度入学者用／単位：円）

研究科	後援会費（※2年目も納付）	学生教育研究災害傷害保険料（※入学時のみ）	学生教育研究賠償責任保険料（※入学時のみ）	初年度その他納付金合計
音楽研究科	10,000	1,750	680	12,430
美術研究科				
デザイン研究科				
人間発達学研究科				

※その他の納付金は入試日程の「入学手続締切日」までの納付です。

奨学金

（2024年度入学者用）

奨学金制度の名称		奨学金の内容	
本学独自の奨学金（返還の義務なし）	緊急奨学金※1	対象	保護者の急変により学費支弁を継続することが極めて困難になった学生
		形態	当該学年の年額授業料の半期分相当額を給付する。給付は1学生に付き原則1回限り
	学費減免制度※1	対象	経済的理由により修学援助を必要とする学業成績、人物ともに優れた2学年以上の学生（若干名）
		形態	当該学年の授業料の1/2額（Ⅰ種）もしくは1/4額（Ⅱ種）を免除※2
		対象	名古屋芸術大学大学院、名古屋芸術大学の正規課程に同時期に在籍する兄弟姉妹の学生のうち最も高い授業料の1名
		形態	当該学年の授業料の1/2額を免除※2
	名古屋芸術大学入学金免除奨学金制度※1	対象	①入学する者の父、母または子が大学院等（名古屋芸術大学短期大学部を含む）の修了生または卒業生の場合
			②名古屋音楽学校の専攻コースまたは特別研究コースに、原則として大学院等への入学年度の5年以内に通算1年以上在籍した修了生
			③名古屋芸術大学開講の生涯学習講座等修了生で学長が認めた者
		形態	入学手続時に納入した入学金を免除
	※1 学費減免・奨学金制度の利用にあたっては、入学後、所定の期間内に各自で申請手続きを行う必要があります。 ※2 申請により、後期分の授業料が免除されます。		
公的奨学金等	**［貸与型奨学金］**独立行政法人日本学生支援機構奨学金		
	・第一種奨学金（無利子）	貸与月額	50,000円、88,000円 より選択（貸与期間中の金額変更可能）
	・第二種奨学金（有利子）	貸与月額	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円 より選択（貸与期間中の金額変更可能）
	〔期　間〕標準修業年限　〔対象者〕学業・人物ともに特に優れているが、経済的理由により修学が困難な者		

特待生制度

対象学生・資格			採用人数	減免額
入学特待生	A	〈学部〉 ①一般選抜「一般入試」１期合格者の成績上位者から学長が推挙した者 ②特別選抜「芸術学部エキスパート入試」合格者の成績上位者から学長が推挙した者 ③特別選抜「教育学部大学入学共通テスト利用特待入試」合格者の成績上位者から学長が推挙した者※ ④特別選抜「プロフェッショナルアーティスト入試」全期合格者の成績上位者から学長が推挙した者 〈大学院〉 ⑤大学院「エキスパート入試」合格者の成績上位者から学長が推挙した者	10名以内	授業料、教育充実費および実習費を **全額免除** (入学初年次のみ適用) ※③のみ4年間にわたって適用
	B	〈学部〉 ①一般選抜「一般入試」１期合格者の成績上位者(入学特待生Ａに該当するものを除く)から学長が推挙した者 ②学校推薦型選抜「一般推薦入試」合格者の成績上位者から学長が推挙した者 ③特別選抜「社会人入試」全期、「海外帰国生徒入試」全期、「外国人留学生入試」全期合格者の成績上位者から学長が推挙した者 ④特別選抜「芸術学部エキスパート入試」合格者の成績上位者(入学特待生Ａに該当するものを除く)から学長が推挙した者 ⑤特別選抜「教育学部大学入学共通テスト利用特待入試」合格者の成績上位者(入学特待生Ａに該当するものを除く)から学長が推挙した者※ ⑥特別選抜「プロフェッショナルアーティスト入試」全期合格者の成績上位者(入学特待生Ａに該当するものを除く)から学長が推挙した者 〈大学院〉 ⑦大学院「一般入試」及び「エキスパート入試」合格者の成績上位者(入学特待生Ａに該当する者を除く)から学長が推挙した者	20名以内	授業料、教育充実費および実習費を **年間 合計50万円に減免** (入学初年次のみ適用) ※⑤のみ4年間にわたって適用
在学特待生		全学部の第2学年から第4学年までに在学する学生および大学院各研究科第2学年に在学する院生で、人格が高潔で学習に取り組む意欲が高く、かつ著しく学業成績優秀又は専門的学術技芸等の実績が高く他の学生の模範と認める者	21名以内	授業料、教育充実費および実習費を **全額免除** **(特待生として推挙された年度の1年間のみ)**

入学辞退について

一旦納付された学納金は原則として返還しません。ただし、入学手続を完了した者で、2024年3月29日(金)15時までに入学を辞退し、本学から送付した「入学納付金返還願」を提出した者については入学金を除く納付金は返還します。

なお、その他の納付金については、期日に関わらず「入学辞退届」が提出されれば返還します。

新入生の学籍取得期日

新入生の学籍取得期日は、2024年4月1日(月)となります。

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者、及び2024年3月卒業見込みの者（短期大学は該当しない）
2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、及び2024年3月までに学位を授与される見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び2024年3月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、及び2024年3月31日までに修了見込みの者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、及び2024年3月31日までに修了見込みの者
6. 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、及び2024年3月31日までに修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者　（昭和28年文部省告示第5号）
9. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学したものであって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
10. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、22歳に達した者

外国人留学生の場合

上記いずれかに該当する者で、以下の条件をすべて満たしている者

1	日本国籍を有しない者で、私費または国費による修学が可能な者（特別永住者を除く）
2	出入国管理及び難民認定法に基づき、「留学」の在留資格をもって日本に在留することができる者 ※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。
3	表1に記載されている「受験時に必要な日本語能力」のいずれかの基準を満たしている者 ※試験結果は、2021年4月1日以降に受験し、出願時までに取得したものを有効とします。

表１　受験時に必要な日本語能力

	試験名	必要スコア（下記の成績以上）
1	日本語能力試験（JLPT）	「N1」または「N2」
2	日本留学試験（EJU）	［科目：日本語］において、 「聴解・聴読解120点以上」かつ「読解120点以上」
3	BJTビジネス日本語能力テスト	400点以上
4	日本語テストシステム J-CAT	250点以上
5	日本大学連合学力試験 HomeEdition（JPUE_HE）	［科目：日本語］において、JLPT「N2」相当以上
6	上記に示した試験のスコアと同等の日本語力を有することを証明できる者	

在留資格「留学」の取得について

日本に在留している場合

入学までに在留期限が切れる方は、入学手続と併せて、在留期間の更新が必要です。
在留資格の更新は、在留期間満了日の3か月前から可能です。
入学前に速やかに各自で更新手続きを行ってください。
在留資格の更新の書類で、所属機関として本学の書類が必要な場合は、入学手続の完了確認後に対応します。
本学が作成する書類（所属機関作成用）を希望される方は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了させて、下記までお問い合わせください。
※原則として、「留学」以外の在留資格を有する場合、入学までに「留学」の在留資格に変更を受けてください。

日本に在留していない場合

外国籍で日本に居住していない（在留資格を持っていない）方は、入学手続と併せて、在留資格の取得が必要です。
「留学」の在留資格申請のためには、まず代理人（名古屋芸術大学）が、日本国内の出入国在留管理庁（入国管理局）に「在留資格認定証明書（COE）」の交付申請を行います。詳細については、合格者へ送付する案内文書で確認してください。
在留資格の申請に必要な資料の作成は、入学手続の完了確認後に対応します。
本学が作成する書類（所属機関作成用）を希望される方は、入学手続締切日にかかわらず、合格確認後、速やかに入学手続を完了させて、下記までお問い合わせください。
※原則として、入学時に本学入学に支障のない在留資格を取得することができない場合は、入学許可を取り消します。

［お問い合わせ先］
広報部国際交流チーム　TEL：0568-24-0318　TEL（海外から）：＋81-568-24-0318　E-mail：ml-nua@nua.ac.jp

出願資格審査

出願資格9．又は10.による志願者は、出願資格審査を行いますので、出願しようとする入学試験の出願開始3週間前までに、下記の事前審査書類を出願資格審査用「送付ラベル」（本学所定様式）により郵送または持参してください。

1．事前審査書類

書類名	備考
①出願資格審査申請書	所定様式を本学Webサイトから出力してください。(大学院_様式０)
②履歴書	所定様式を本学Webサイトから出力してください。(大学院_様式１)
③最終学歴の卒業(見込)証明書※	・ 証明書の原本を提出してください。 ・ 日本語または英語表記のものに限ります。 日本語・英語以外の言語で記載されている場合は、大使館などの公的機関で証明した日本語訳または英語訳を原本と一緒に提出してください。 なお、日本語学校に在籍中の方は、日本語学校による証明も可とします。 (※婚姻等の事情により証明書と姓が異なる場合は戸籍抄本を併せて提出してください。)
④最終学歴の成績証明書※	
⑤研究計画書	・ 詳細は各研究科の選抜方法を参照のうえ、提出してください。
⑥学習歴、実務・活動経験歴、資格等を証明するもの	・ 研究科での研究活動に資する、または関連する資格等の取得を証明するもののコピー ・ 様式1の記載内容を証明するもの　等 (任意様式)

2．審査結果の通知
事前審査の結果については、出願開始日までに本人宛にメールで通知します。

3．その他の注意事項
出願資格を認められた者が受験を希望する場合は、次頁の「出願書類」に示された必要書類を「出願書類郵送期限」までに提出してください。

出願書類

出願書類	対象研究科	備考
①出願確認票	共通	・ インターネット出願登録完了後に表示される出願確認票を印刷して提出すること
②最終学校の卒業証明書 または卒業見込証明書	共通	・ 開封無効 ※本学学部卒業生(見込)に限り提出不要　※出願資格審査で提出済みの場合は不要
③最終学校の成績証明書	共通	・ 開封無効 ・ 卒業後大学等で単位を修得した場合は、その証明書 ※本学学部卒業生(見込)に限り提出不要　※出願資格審査で提出済みの場合は不要
④履歴書(大学院_様式１)	共通	・ 所定様式を本学Webサイトから出力すること（大学院_様式１） ※出願資格審査で提出済みの場合は不要
⑤研究計画書 ※研究計画書作成に関して、教員との事前相談を希望される方は、出願登録開始前までに広報部学生募集チーム（0568－24－0318）までお問い合わせください。	共通	・ 詳細は各研究科の選抜方法を参照のうえ、出願時に提出すること
⑥受験演奏曲目記入用紙 （大学院_様式2）	音楽研究科	・ 所定様式を本学Webサイトから出力すること（大学院_様式2） 【声楽専攻】 選抜方法を参照のうえ、所要事項を記入して出願時に提出すること 【器楽専攻】 選抜方法を参照のうえ、所要事項を記入して出願時に提出すること 【音楽学専攻(芸術文化創造)】 専攻実技選択者は、選抜方法を参照のうえ、所要事項を記入して出願時に提出すること
⑦事前提出論文	音楽研究科	【音楽学専攻(アートマネジメント)】 ※詳細は選抜方法参照 ・ 様式はA4サイズ用紙縦長、横書きとし、自筆またはPC等で作成すること
⑧研究概要	音楽研究科	【音楽学専攻(音楽療法)】 ※詳細は選抜方法参照
⑨オリジナル作品	音楽研究科	【音楽学専攻(作曲)】 ※詳細は選抜方法参照 【音楽学専攻(芸術文化創造)】 ※詳細は選抜方法参照
⑩演奏曲の編曲または 作曲楽譜のコピー	音楽研究科	【器楽専攻(電子オルガン)】 ※詳細は選抜方法参照
⑪作品資料集 及び 自己作品証明書 (大学院_様式４)	美術研究科 デザイン研究科	・「作品資料集」についての詳細は選抜方法を参照のうえ、出願時に提出すること ・「自己作品証明書」については、所定様式(大学院_様式４)を本学Webサイトから出力し、所要事項を記入のうえ、出願時に提出すること
⑫卒業論文または作品に ついてのレポート	美術研究科	【美術文化研究】 ※詳細は選抜方法参照 ① 既卒業論文提出者：「卒業論文」のコピー2部を出願時に提出すること ② 卒業見込者あるいは卒業論文を提出しなかった既卒業者：自作、他作を問わず美術作品1点を選び、作品について4,000字程度に論述した「レポート」を出願時に提出すること
⑬卒業論文 （または主な研究）の概要	人間発達学研究科	・ 様式はA4サイズ用紙縦長、横書きとし、自筆またはPC等で作成のうえ、卒業論文またはこれまでに行った主な研究の概要を2,500字程度にまとめて提出すること ※ただし、卒業論文（または主な研究）の概要を提出できない者は、次項の「社会的活動の概要」で代替させることを可能とする
⑭社会的活動の概要	人間発達学研究科	※前項の卒業論文（または主な研究）の概要を提出できない者は提出 ・ 様式はA4サイズ用紙縦長、横書きとし、自筆またはPC等で作成のうえ、これまでに行った社会的活動の概要を2,500字程度にまとめること
⑮出願資格審査結果通知書	共通	本学よりメールで送付した通知書を印刷したものを提出すること ※事前の資格審査対象者のみ提出
⑯追加提出書類等	共通	エキスパート選抜において、追加提出書類等の指示があるものは、出願時に提出すること

＜以下、外国人留学生のみ提出＞	
⑰在留資格を証明する書類 ・在留カードのカラーコピー(両面)※ ・パスポートのカラーコピー	・ 在留カードは、裏面に記載がなくてもカラーコピーを取ってください。記載がないことを確認します。（※日本に在留している場合のみ） ・ パスポートの身分事項(氏名、顔写真、生年月日、国籍、パスポートの有効期限等)が記載されているページをコピーしてください。 ・ A4サイズ用紙にコピーしてください。
⑱日本語能力レベルを証明する書類	次のいずれか一つを提出してください。 ・ 日本語能力試験(JLPT)…「認定結果及び成績に関する証明書」の原本、または「合否結果通知書のコピー」、または「日本語能力認定書」のコピー ・ 日本留学試験(EJU)…「成績確認書」 ・ その他、出願資格「外国人留学生の場合」の３に該当する試験のスコアを証明できる「成績表」等の原本 ※日本語学校等の在籍学校による証明は不可
⑲留学経費支弁計画および経費支弁書	所定様式を本学Webサイトから出力してください。(大学院_様式３)
⑳日本語学校等の在籍証明書	日本語学校に在籍中の方のみ提出してください。 日本に在留している場合で、日本国内の学校に在籍しているもしくは在籍していた場合は、必ず提出してください。また、④履歴書に必ず記載してください。

※出願書類で得た情報は、本学で厳重に管理し、入試業務及び本学からのご案内以外には使用いたしません。
※本学所定様式はWebサイトより出力してください。

音楽研究科　修士課程

選抜区分と選抜方法

入学者の選抜は、「一般選抜」「エキスパート選抜」の2区分で実施します。

■一般選抜

各専攻等の選抜方法により総合的に評価します。
※出願後の曲目変更等は原則として認めない　※演奏曲目は指示がない限り使用版は指定しない。

専攻			選　抜　方　法
声楽専攻			（1）**専門試験(専攻実技)：**任意に選択した歌曲及びアリアを10分以上15分以内で演奏すること（暗譜のこと） 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること ※演奏は原語、原調を原則とする（演奏曲目の組み合わせは自由とする） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	ピアノ		（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を20分～25分程度にまとめて、演奏すること（暗譜のこと） ① Chopin；12 Etudes Op.10 または25より任意の２曲 ② 任意の楽曲（複数の曲も可） 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	電子オルガン		（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①②③の演奏を行う ・演奏は暗譜とし、出願と同時に編曲または作曲楽譜のコピーを提出すること（自作・自編曲のみ） ・即興演奏を含む場合は、事前に決められた要素のみ提出楽譜に記述する ① クラシック音楽作品演奏 ・任意の1曲を目安として5分以上演奏すること ・交響曲、協奏曲等は、1つの楽章を1曲とする ・自作曲可 ② ポピュラー音楽作品演奏 ・任意の1曲を目安として5分以上演奏すること ・自作曲可 ③ モチーフ即興 ・当日提示されるモチーフから楽曲を作り演奏する 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	弦楽器	ヴァイオリン	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① J.SBach；無伴奏ソナタ、パルティータより任意の曲 ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	弦楽器	ヴィオラ	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① J.SBach；無伴奏チェロ組曲ヴィオラ版より任意の曲 ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	弦楽器	チェロ	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① J.SBach；無伴奏チェロ組曲より任意の曲 ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	弦楽器	コントラバス	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① 次の(ア)または(イ)のいずれかを選択 (ア) C.D.Von Dittersdorf Concerto E-dur（ガテンツァH.K.Gruber版） (イ) S.Koussevitzky Concerto fis-moll ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）

専攻			選　抜　方　法
器楽専攻	弦楽器	ギター	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① 次の(ア)または(イ)のいずれかを選択 (ア) J.ロドリーゴ；アランフェス協奏曲　(イ) C.テデスコ；ギター協奏曲 第１番 二長調op.99 ② 次の(ア)または(イ)のいずれかを選択 (ア) F.ソル；グラン ソロop.14　(イ) D.アグアド；序奏とロンド イ短調op.2-3 （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
	管楽器	フルート	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① 次の(ア)または(イ)のいずれかを選択 (ア) J.S Bach；Paritta a-moll f ür Flöte allein,BMV 1013 (イ) W.A.Mozart；Konzert G dur,KV 313（任意のカデンツァ） ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		オーボエ	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① J.haydn；オーボエ協奏曲C-dur（Breitkopf版） ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		クラリネット	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① W.A.Mozart；Konzert A dur K.622 ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		ファゴット	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① W.A.Mozart；Konzert B- dur K191 ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		サクソフォーン	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① J.Ibert;Concertino da Camera(Ledue版) ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		ホルン	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① C.Saint-Saens;Morceau de Concerto op.94 ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		トランペット	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① J.Haydn；Trumpet　Concert in E♭major ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		トロンボーン	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① F.David;Concertino ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
		ユーフォニアム	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① E.Boccalari;Fantasia de Concerto（Euphonium Tuba版） ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）

専攻			選　抜　方　法
器楽専攻	管楽器	テューバ	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① A.Levedjew;協奏曲（Hoffmeister版） ② 任意の楽曲：①と時代様式の異なる曲（10分前後） （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	打楽器	マリンバ	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① P.Creston；Concerto for Marimba and Orchestra (G.Schirmer版) ② 任意の楽曲：（10分前後）　打楽器の曲でもよい （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
器楽専攻	打楽器	パーカッション	（1）**専門試験(専攻実技)：**次の①と②を演奏すること ① D.Milhaud;Concert pour batterie et petit orchestra(Universal Edition版) ② 任意の楽曲：（10分前後）マリンバの曲でもよい （注）伴奏者については受験者自身で用意すること 「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること （2）**面接試験：**研究計画書に基づく口頭試問（約10分）
音楽学専攻	芸術文化創造		（1）**専門試験：**次の①から③より、いずれか1つを選択 ①**（専攻実技）**：専攻する演奏あるいはパフォーマンス（任意）（10分程度） ②**（小論文）**：芸術文化創造に関する小論文（1,200字程度・テーマは当日課す）（90分） ③**（作品提出）**：芸術文化創造に関するオリジナル作品（当日持参または事前送付） （2）**面接試験：**各自が希望する芸術文化創造に関わる研究テーマについて口頭試問（約15分）
音楽学専攻	音楽療法		（1）**専門試験(研究概要提出)：**各自が希望する音楽療法に関わる研究概要（1,200字以上）を出願と同時に提出すること （2）**面接試験：**提出した研究概要について口頭試問（約15分）
音楽学専攻	アートマネジメント		（1）**専門試験(論文審査)：**指定された題による論文の審査 【要領】次の3つの題より１つを選択し、1,200字以上2,000字以内にまとめ、出願と同時に提出すること ①「公立文化施設におけるアートマネジメント」 ②「日本の文化政策の展望」 ③「文化ボランティアとアートマネジメント」 （2）**面接試験：**提出した論文に基づいた口頭試問（約15分） 【要領】論文の要点と今後の研究課題を述べること（当日、提出した論文のコピーを持参すること）
音楽学専攻	作曲		（1）**専門試験(作品提出)：**10分程度のオリジナル作曲作品（複数作品可）のスコア（総譜）を出願と同時に提出すること なお、音源（CD等）があれば同時に提出してもよい。 （2）**面接試験：**提出した作品について口頭試問（約15分）（当日、提出したコピーを持参すること）

〈選抜方法の配点について〉

（1） 専門試験(実技試験・小論文・研究概要提出・論文審査・作品提出)　[配点200点]
（2） 面接試験　[配点100点]

※ 当日、時間の都合で演奏をカットする場合もあります。
※ 器楽専攻の弦楽器、管楽器、打楽器の実技試験においては、暗譜であることは問いません。
※ 声楽専攻、器楽専攻の受験者は、「受験演奏曲目記入用紙」に演奏曲目・作曲者名・演奏時間を記入し提出すること

〈選考に関する注意事項〉

＊ 原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン（ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m）、コントラバス、ハープ、テューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム（小太鼓）、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
＊ その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム（楽器室担当）〔TEL：0568-24-5141〕までお問い合わせください。
＊ 学内にある練習室（東キャンパス5号館1F）が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8：00～9：00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。

■エキスパート選抜

志願する専攻の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。
なお、この入学試験では「特待生」を選抜する入学試験ですので、入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなり、「特待合格」の「入学特待生A」であった場合、入学金を除く学納金(授業料、教育充実費、実習費)が免除となります。「特待合格」の「入学特待生B」であった場合、授業料の50万円を超える額及び教育充実費、実習費の全額が免除となります。
(いずれも入学初年次のみ。2年次以降の授業料免除については、別に定める授業料免除のための継続条件に基づいて毎年審査を行い、条件を満たした場合に該当となります。)

＜募集専攻＞
声楽専攻及び器楽専攻
＜条件＞
- **「入学特待生Ａ」を希望する場合：国内外のコンクールに入賞もしくは入選した者。またはそれと同等の演奏技術を有すると本学音楽研究科が認めた者**
- **「入学特待生Ｂ」を希望する場合：特になし**

※出願時に「入学特待生Ａ」または「入学特待生Ｂ」のいずれかの希望を選択すること
＜追加出願書類等＞
活動経歴書※(任意様式) ※これまでの活動歴、受賞歴、演奏グレード等を明確に記述のうえ提出すること
プログラム表(任意様式)

	選考方法
「入学特待生Ａ」を希望する場合	（1）**専門試験〔専攻実技〕（配点：200点)**： 60分以上70分以内のリサイタルプログラムを自ら企画し、試験担当者の前で演ずる。ただし、３つ以上の時代と作曲家で構成するプログラムとすること。 なお当日の受験者数によっては60分で演奏を打ち切る場合があります。また声楽試験は当日の中で2回に分けて実施し、受験順もそれに伴い変わります。 （2）**面接試験 （配点：100点）**： 演奏終了後、自ら構成したリサイタルプログラムのコンセプトを楽曲の解説を交えて述べるとともに、面接担当者からの試問に答えること。（約10分） ※伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと ※楽譜の持ち込みは不可（暗譜で演奏）
「入学特待生Ｂ」を希望する場合	（1）**専門試験〔専攻実技〕（配点：200点)**： 45分以上55分以内のリサイタルプログラムを自ら企画し、試験監督者の前で演ずる。ただし、３つ以上の時代と作曲家で構成するプログラムとすること。 なお当日の受験者数によっては45分で演奏を打ち切る場合があります。また声楽試験は当日の中で2回に分けて実施し、受験順もそれに伴い変わります。 （2）**面接試験 (配点：100点)**： 演奏終了後、自ら構成したリサイタルプログラムのコンセプトを楽曲の解説を交えて述べるとともに、面接担当者からの試問に答えること。（約10分） ※伴奏者を必要とする場合は各自同伴のこと ※楽譜の持ち込みは不可（暗譜で演奏）

〈選考に関する注意事項〉
＊ 原則として楽器は各自持参してください。ただしピアノ、電子オルガン（ヤマハ ELS-02C、ELS-01C、EL-900m）、コントラバス、ハープ、テューバ、マリンバ、ドラムス、スネアドラム（小太鼓）、ティンパニ、アンプ等は本学で用意します。
＊ その他、楽器の貸し出し等については、本学業務部総務チーム（楽器室担当）〔TEL：0568-24-5141〕までお問い合わせください。
＊ 学内にある練習室（東キャンパス5号館1F）が使用できます。利用可能期間は、試験当日の8：00～9：00までとなります。利用を希望する場合は、出願後に本学広報部学生募集チーム〔TEL:0568-24-0318〕まで電話でご連絡ください。

教育課程

〔音楽研究科　声楽専攻〕

<table>
<tr><th rowspan="2">科目</th><th rowspan="2">授業科目</th><th rowspan="2">履修年次</th><th colspan="2">単位数</th><th colspan="2" rowspan="2">最低修得単位数</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="2">研究領域科目</td><td>声楽演奏研究</td><td>1</td><td>8</td><td></td><td colspan="2" rowspan="2">２科目16単位必修</td></tr>
<tr><td>声楽特殊研究</td><td>2</td><td>8</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">関連演習科目</td><td>声楽演習-１（日本歌曲）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td><td rowspan="5">３科目6単位以上
選択必修</td><td rowspan="14">2単位以上
選択履修</td></tr>
<tr><td>声楽演習-２（ドイツリート）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>声楽演習-３（英語歌曲または宗教曲）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>声楽演習-４（オペラ）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>舞台言語表現演習</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="9">基礎科目</td><td>外国語研究（英語）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td><td rowspan="9">３科目6単位
選択必修</td></tr>
<tr><td>外国語研究（伊語）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>外国語研究（独語）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>楽曲分析研究-１（古典・ロマン派作品）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>楽曲分析研究-２（対位法的作品）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>楽曲分析研究-３（近代作品）</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>音楽学特論-１</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>音楽学特論-２</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>指揮法研究</td><td>1・2</td><td></td><td>2</td></tr>
</table>

※【参考】令和5（2023）年度学則設置科目

●修了要件

1　修得すべき単位数

（1）　研究領域科目　　２科目16単位必修

（2）　関連演習科目　　３科目６単位以上選択必修

（3）　基礎科目　　３科目６単位選択必修

（4）　関連演習科目及び基礎科目のうちから２単位以上選択履修

合計　30単位以上

2　修士論文または修士演奏審査、最終試験合格

〔音楽研究科　器楽専攻〕

<table>
<tr><th rowspan="2">科目</th><th rowspan="2">授業科目</th><th rowspan="2">履修年次</th><th colspan="2">単位数</th><th colspan="2" rowspan="2">最低修得単位数</th></tr>
<tr><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td rowspan="6">研究領域科目</td><td>ピアノ演奏研究</td><td>1</td><td></td><td>8</td><td colspan="2" rowspan="5">１科目8単位
選択必修</td></tr>
<tr><td>電子オルガン演奏研究</td><td>1</td><td></td><td>8</td></tr>
<tr><td>弦楽器演奏研究</td><td>1</td><td></td><td>8</td></tr>
<tr><td>管楽器演奏研究</td><td>1</td><td></td><td>8</td></tr>
<tr><td>打楽器演奏研究</td><td>1</td><td></td><td>8</td></tr>
<tr><td>器楽演奏特殊研究</td><td>2</td><td>8</td><td></td><td colspan="2">1科目8単位必修</td></tr>
<tr><td rowspan="12">関連演習科目</td><td>鍵盤楽器奏法演習-１</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td><td rowspan="12">３科目6単位以上
選択必修</td><td rowspan="24">2単位以上
選択履修</td></tr>
<tr><td>鍵盤楽器奏法演習-２</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>鍵盤楽器奏法演習-３</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>鍵盤楽器奏法演習-４</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>電子オルガン奏法演習-１</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>電子オルガン奏法演習-２</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>器楽合奏演習-１</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>器楽合奏演習-２</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>器楽合奏演習-３</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>作曲法（古典）特殊研究-１</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>作曲法（現代）特殊研究-２</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="12">基礎科目</td><td>外国語研究（英語）</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td><td rowspan="12">３科目6単位
選択必修</td></tr>
<tr><td>外国語研究（伊語）</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>外国語研究（独語）</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>楽曲分析研究-１（古典・ロマン派作品）</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>楽曲分析研究-２（対位法的作品）</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>楽曲分析研究-３（近代作品）</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>音楽学特論-１</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>音楽学特論-２</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>指揮法研究</td><td>１・２</td><td></td><td>2</td></tr>
</table>

※【参考】令和5（2023）年度学則設置科目

●修了要件

1　修得すべき単位数

（1）　研究領域科目　　選択必修１科目８単位、１科目８単位必修　計 16単位

（2）　関連演習科目　　３科目６単位以上選択必修

（3）　基礎科目　　３科目６単位選択必修

（4）　関連演習科目及び基礎科目のうちから２単位以上選択履修

合計　30単位以上

2　修士論文または修士演奏審査、最終試験合格

〔音楽研究科　音楽学専攻〕

科目	授業科目		履修年次	単位数 必修	単位数 選択	最低修得単位数	
研究領域科目	芸術文化創造研究-1	A	1		4	各研究領域科目より４科目 16単位選択必修	
	芸術文化創造研究-2		1		4		
	芸術文化創造研究-3		2		4		
	修士特別研究（芸術文化創造）		2		4		
	音楽療法研究-1	B	1		4		
	音楽療法研究-2		1		4		
	音楽療法研究-3		2		4		
	修士特別研究（音楽療法）		2		4		
	アートマネジメント研究-1	C	1		4		
	アートマネジメント研究-2		1		4		
	アートマネジメント研究-3		2		4		
	修士特別研究（アートマネジメント）		2		4		
	作曲研究-1	D	1		4		
	作曲研究-2		1		4		
	作曲研究-3		2		4		
	修士特別研究（作曲）		2		4		
関連演習科目	芸術文化創造実践演習-1		1・2		2	３科目6単位以上 選択必修	2単位以上 選択履修
	芸術文化創造実践演習-2		1・2		2		
	音楽療法実践演習-1		1・2		2		
	音楽療法実践演習-2		1・2		2		
	アートマネジメント特別演習-1		1・2		2		
	アートマネジメント特別演習-2		1・2		2		
	作曲法（古典）特殊研究-1		1・2		2		
	作曲法（現代）特殊研究-2		1・2		2		
	管弦楽法研究		1・2		2		
	音楽コンテンツ表現演習		1・2		2		
基礎科目	外国語研究（英語）		1・2		2	３科目6単位 選択必修	
	外国語研究（伊語）		1・2		2		
	外国語研究（独語）		1・2		2		
	楽曲分析研究-１（古典・ロマン派作品）		1・2		2		
	楽曲分析研究-２（対位法的作品）		1・2		2		
	楽曲分析研究-３（近代作品）		1・2		2		
	音楽学特論-1		1・2		2		
	音楽学特論-2		1・2		2		
	音楽コンテンツ表現特論		1・2		2		
	指揮法研究		1・2		2		

※【参考】令和5（2023）年度学則設置科目

●修了要件

1　修得すべき単位数

（1）　研究領域科目　　４科目１６単位必修　　計16単位

（2）　関連演習科目　　３科目６単位以上選択必修

（3）　基礎科目　　３科目６単位選択必修

（4）　関連演習科目及び基礎科目のうちから２単位以上選択履修

合計　30単位以上

2　修士論文または修士演奏審査、最終試験合格

美術研究科　修士課程

選抜区分と選抜方法

入学者の選抜は、「一般選抜」「エキスパート選抜」の2区分で実施します。

■一般選抜

各研究領域の選抜方法により総合的に評価します。

専攻・研究			選　抜　方　法
美術専攻	絵画研究	日本画制作研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願時に提出すること　[※注意2参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去4年間程度の主な自己作品の写真等を１冊にまとめたものを出願時に提出すること[※注意４参照] （3）**専門試験〔作品持参〕（配点200点）**：過去１年以内に制作した30号以上の作品２点を試験当日に持参すること[※注意５参照] （4）**面接試験（配点100点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
		洋画制作研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願時に提出すること　[※注意2参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去4年間程度の主な自己作品の写真等を１冊にまとめたものを出願時に提出すること[※注意４参照] （3）**専門試験〔作品持参〕（配点200点）**：過去１年以内に制作した30号以上の作品2点と過去1年以内に制作したエスキースまたはドローイングを試験当日に持参すること　[※注意５参照] （4）**面接試験（配点100点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	造形研究	工芸制作研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願時に提出すること　[※注意2参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去4年間程度の主な自己作品等の資料を１冊にまとめたものを出願時に提出すること[※注意４参照] （3）**専門試験〔作品持参〕（配点200点）**：過去1年以内に制作した作品1点以上（大きさは自由）を試験当日に持参すること[※注意５参照] （4）**面接試験（配点100点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	同時代表現研究		（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願時に提出すること　[※注意2参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去4年間程度の主な自己作品の写真等の資料を１冊にまとめたものを出願時に提出すること。論文を添付することも可　[※注意４参照] （3）**専門試験〔作品持参〕（配点200点）**：過去１年以内に制作した作品１点以上（形式・大きさは自由）を試験当日に持参すること[※注意５参照] （4）**面接試験（配点100点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	美術文化研究	芸術学・美術史研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点200点）**：入学後の研究テーマ、計画等について4,000字程度に論述した「研究計画書」（ジャンル、地域、時代、個別名等できるだけ具体的に）の原本1部、コピー1部及び本文についての「要旨」400字から800字程度をA4サイズ用紙1枚に収めて出願時に提出すること[※注意2参照] （2）**専門試験〔卒業論文または作品についてのレポート〕（配点100点）：** ① 既卒業論文提出者：「卒業論文」のコピー2部を出願時に提出すること ② 卒業見込者あるいは卒業論文を提出しなかった既卒業者：自作、他作を問わず美術作品1点を選び、作品について4,000字程度に論述した「レポート」の原本1部、コピー1部を出願時に提出すること（作品写真等の図版3点以内を含めること） （3）**面接試験（配点200点）**：論文または研究レポートの内容を中心とした口頭試問

※注意

1. 志望研究領域の選択は日本画制作研究、洋画制作研究、工芸制作研究、同時代表現研究、芸術学・美術史研究の内、いずれか一つの研究領域を選択してください。
2. 研究計画書の様式はA4サイズ用紙縦長、横書きとし、自筆またはパソコン等で作成のもの。
3. 当日持参する作品は自身で搬入・搬出が可能なものに限ります。
4. 作品資料集は、入学試験当日に返却します。
5. 自己作品等の形式が映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするものの場合は、再生装置（ノートパソコン等）も持参してください。

■エキスパート選抜

志願する専攻の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。
なお、この入学試験では「特待生」を選抜する入学試験ですので、入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなり、「特待合格」の「入学特待生A」であった場合、入学金を除く学納金(授業料、教育充実費、実習費)が免除となります。「特待合格」の「入学特待生B」であった場合、授業料の50万円を超える額及び教育充実費、実習費の全額が免除となります。
(いずれも入学初年次のみ。2年次以降の授業料免除については、別に定める授業料免除のための継続条件に基づいて毎年審査を行い、条件を満たした場合に該当となります。)

＜募集専攻＞
美術専攻　全研究
＜条件＞
特になし
＜追加提出書類等＞
特になし

選考方法
(1) **面接試験〔自己作品のプレゼンテーションと個人面接〕（配点：200点）**： 自己作品は過去１年以内に制作した作品3点以内とポートフォリオを持参のうえ、自己作品のプレゼンテーションと面接を実施 (研究計画書を参考とする。) (自己作品のプレゼンテーション約10分＋面接約20分) (2) **専門試験〔筆記〕（配点：100点）**： 「テーマ設定型小論文（字数は800 ～ 1,200字程度）」　(実施時間60分)

※注意
1. 志望研究領域の選択は日本画制作研究、洋画制作研究、工芸制作研究、同時代表現研究、芸術学・美術史研究の内、いずれか一つの研究領域を選択してください。
2. 研究計画書は、現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述したものを出願時に提出すること。様式はA4サイズ用紙縦長、横書きとし、自筆またはパソコン等で作成のもの。
3. 当日持参する作品は自身で搬入・搬出が可能なものに限ります。
4. 作品資料集は、入学試験当日に返却します。
5. 自己作品等の形式が映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするものの場合は、再生装置（ノートパソコン等）も持参してください。

教育課程

〔美術研究科　美術専攻〕

科目	授業科目	履修年次	単位数		最低修得単位数
			必修	選択	
研究領域	絵画研究日本画制作研究	1		10	1科目10単位 選択必修
	絵画研究洋画制作研究	1		10	
	造形研究工芸制作研究	1		10	
	同時代表現研究	1		10	
	美術文化研究　芸術学・美術史研究	1		10	
	自主テーマによる研究及び修了研究	2	10		10単位必修
関連領域	絵画技法演習１	1・2		2	2科目4単位以上 選択必修
	絵画技法演習２	1・2		2	
	映像表現演習	1・2		2	
	スペースデザイン演習	1・2		2	
	クラフトデザイン演習	1・2		2	
	地域プロジェクト演習	1・2		2	
	意匠計画演習	1・2		2	
	コミュニケーションデザイン＆アート演習	1・2		2	
	美術史演習	1・2		2	
	芸術計画演習	1・2		2	
理論領域	芸術学特論	1・2		2	3科目6単位以上 選択必修
	美術史特論	1・2		2	
	現代芸術とメディア	1・2		2	
	クラフトデザイン特論	1・2		2	
	芸術特講１	1・2		2	
	芸術特講２	1・2		2	
	デザイン学特講１	1・2		2	
	デザイン学特講２	1・2		2	

※【参考】令和5（2023）年度学則設置科目

●修了要件

1　修得すべき単位数

（1）　研究領域　　１科目10単位選択必修、自主テーマによる研究及び修了研究10単位必修

（2）　関連領域　　２科目４単位以上選択必修

（3）　理論領域　　３科目６単位以上選択必修

合計　30単位以上

2　修士論文（作品）審査及び最終試験合格

デザイン研究科　修士課程

選抜区分と選抜方法

入学者の選抜は、「一般選抜」「エキスパート選抜」の2区分で実施します。

■一般選抜

各研究領域の選抜方法により総合的に評価します。

専　攻		選　抜　方　法
デザイン専攻	ヴィジュアルデザイン研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願と同時に提出すること　[※注意２参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去2～3年間程度の主な自己作品をポートフォリオとしてまとめたものを出願と同時に提出すること　[※注意４参照] （3）**専門試験〔作品持参〕（配点100点）**：近作1～2点を試験当日に持参すること。[※注意５参照] （4）**面接試験（配点200点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	メディアデザイン研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願と同時に提出すること　[※注意２参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去2～3年間程度の主な自己作品をポートフォリオとしてまとめたものを出願と同時に提出すること　[※注意４参照] また、試験当日に提出する予定の作品に関する情報（作品タイトル/メディア/作品時間/動作環境など）を記入した紙を添付すること （3）**専門試験〔作品持参〕（配点100点）**：過去2年以内に制作した主な作品3点と自己の作品をポートフォリオとしてまとめたものを試験当日に持参すること　[※注意５参照] （4）**面接試験（配点200点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	ライフスタイルデザイン研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願と同時に提出すること　[※注意２参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点200点）**：過去2～3年間程度の主な自己制作（写真・計画書等）、研究（論文のコピー等）、活動（企画書、記録等）を1冊にまとめたものを出願と同時に提出すること　[※注意５参照] （3）**面接試験（配点200点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	3Dデザイン研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願と同時に提出すること　[※注意２参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去2～3年間程度の主な自己作品をポートフォリオとしてまとめたものを出願と同時に提出すること　[※注意４参照] （3）**専門試験〔作品持参〕（配点100点）**：過去１年以内に制作した主な作品１点のプレゼンテーション（形式は自由）を試験当日に持参すること　[※注意５参照] （4）**面接試験（配点200点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	クラフトデザイン研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願と同時に提出すること　[※注意２参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点100点）**：過去2～3年間程度の主な自己作品をポートフォリオとしてまとめたものを出願と同時に提出すること　[※注意４参照] （3）**専門試験〔作品持参〕（配点100点）**：過去１年以内に制作した主な作品2点（形式・大きさは自由）を試験当日に持参すること　[※注意５参照] （4）**面接試験（配点200点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問
	コンテンツビジネスディレクション研究	（1）**専門試験〔研究計画書〕（配点100点）**：現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述した「研究計画書」を出願と同時に提出すること　[※注意２参照] （2）**専門試験〔作品資料集〕（配点200点）**：過去2～3年間以内に制作、執筆などをした自己作品をポートフォリオとしてまとめたものを出願時に提出すること　[※注意４参照] （3）**面接試験（配点200点）**：研究計画書の内容を中心とした口頭試問

※注意

1. 志望研究領域の選択はヴィジュアルデザイン研究、メディアデザイン研究、ライフスタイルデザイン研究、３Dデザイン研究、クラフトデザイン研究、コンテンツビジネスディレクション研究の内、いずれか一つの研究領域を選択してください。
2. 研究計画書の様式はA4サイズ用紙縦長、横書きとし、自筆またはパソコン等で作成のもの。
3. 当日持参する作品は自身で搬入・搬出が可能なものに限ります。
4. 作品資料集は、入学試験当日に返却します。
5. 自己作品等の形式が映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするものの場合は、再生装置（ノートパソコン等）も持参してください。

■エキスパート選抜

志願する専攻の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。
なお、この入学試験では「特待生」を選抜する入学試験ですので、入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなり、「特待合格」の「入学特待生A」であった場合、入学金を除く学納金(授業料、教育充実費、実習費)が免除となります。
「特待合格」の「入学特待生B」であった場合、授業料の50万円を超える額及び教育充実費、実習費の全額が免除となります。
(いずれも入学初年次のみ。2年次以降の授業料免除については、別に定める授業料免除のための継続条件に基づいて毎年審査を行い、条件を満たした場合に該当となります。)

＜募集専攻＞
デザイン専攻　全研究
＜条件＞
資料検索用として、ノートパソコンやタブレット端末の持参及び使用を認める。
＜追加提出書類等＞
- **研究計画書**
- **志望理由書(A４用紙で5枚程度)**

選考方法
(1) **専門試験〔「研究計画書」及び「志望理由書」〕（配点：50点)**： 出願時に、これまでの制作を基にした今後の「研究計画書」及び「志望理由書(Ａ４用紙で５枚程度）」を提出すること。 (2) **面接試験〔個人面接〕（配点：100点)**： 自作品３点以上とポートフォリオを持参のうえ、自作品のプレゼンテーションを含み、面接を実施 (実施時間約30分) (3) **専門試験〔実制作等〕（配点：150点)**： デザインに関するレクチャー（約15分）を聞き、その後「考え方の表現テスト（デザインプロセスの確認を含む）の実施とそれに基づく実制作 (実施時間270分)

※注意
1. 志望研究領域の選択はヴィジュアルデザイン研究、メディアデザイン研究、ライフスタイルデザイン研究、３Dデザイン研究、クラフトデザイン研究、コンテンツビジネスディレクション研究の内、いずれか一つの研究領域を選択してください。
2. 研究計画書は、現在までの研究概要、入学後の研究計画について2,000字程度に論述したものを出願時に提出すること。様式はA4サイズ用紙縦長、横書きとし、自筆またはパソコン等で作成のもの。
3. 当日持参する作品は自身で搬入・搬出が可能なものに限ります。
4. 作品資料集は、入学試験当日に返却します。
5. 自己作品等の形式が映像等のメディア作品のような再生装置を必要とするものの場合は、再生装置（ノートパソコン等）も持参してください。

教育課程

〔デザイン研究科　デザイン専攻〕

科目	授業科目	履修年次	単位数		最低修得単位数
			必修	選択	
研究領域	UNIT1　ヴィジュアルデザイン研究	1		10	1科目10単位 選択必修
	UNIT2　メディアデザイン研究	1		10	
	UNIT3　ライフスタイルデザイン研究	1		10	
	UNIT4　3Dデザイン研究	1		10	
	UNIT5　クラフトデザイン研究	1		10	
	UNIT6　コンテンツビジネスディレクション研究	1		10	
	自主テーマによる研究及び修了研究	2	10		10単位必修
関連領域	ヴィジュアルデザイン演習	1・2		2	2科目4単位以上 選択必修
	絵画技法演習１	1・2		2	
	絵画技法演習２	1・2		2	
	映像表現演習	1・2		2	
	コミュニケーションデザイン＆アート演習	1・2		2	
	デザインプロセス演習	1・2		2	
	プロダクトデザイン演習	1・2		2	
	スペースデザイン演習	1・2		2	
	クラフトデザイン演習	1・2		2	
	コンテンツビジネスディレクション演習	1・2		2	
	地域プロジェクト演習	1・2		2	
	意匠計画演習	1・2		2	
理論領域	ヴィジュアルデザイン特論	1・2		2	3科目6単位以上 選択必修
	メディアデザイン特論	1・2		2	
	現代芸術とメディア	1・2		2	
	生活デザイン特論	1・2		2	
	プロダクトデザイン特論１(エルゴノミクス論)	1・2		2	
	プロダクトデザイン特論２ (エコロジーとバリアフリーor製品企画論)	1・2		2	
	スペースデザイン特論	1・2		2	
	クラフトデザイン特論	1・2		2	
	コンテンツビジネスディレクション特論	1・2		2	
	デザイン学特論	1・2		2	
	デザインリテラシー特論	1・2		2	
	芸術特講１	1・2		2	
	芸術特講２	1・2		2	
	デザイン学特講１	1・2		2	
	デザイン学特講２	1・2		2	

※【参考】令和5（2023）年度学則設置科目

●修了要件

1　修得すべき単位数

（1）　研究領域　　UNIT１～６より１科目10単位選択必修
　　自主テーマによる研究及び修了研究10単位必修

（2）　関連領域　　２科目４単位以上選択必修

（3）　理論領域　　３科目６単位以上選択必修

合計　30単位以上

2　修士論文（作品）審査及び最終試験合格

人間発達学研究科　修士課程

選抜区分と選抜方法

入学者の選抜は、「一般選抜」「エキスパート選抜」の2区分で実施します。

■一般選抜

本専攻の教育を受けるに相応しい能力と適性を有した者を合理的に判断するために、志望理由や研究計画及びこれまでの実績等により総合的に評価します。

選考方法
(1) **専門試験〔志望理由書〕（配点100点）**： あなたが本学大学院を志すに至った理由や目標・目的などを800～1,200字で記入のうえ出願時に提出すること ※訪問研究室・相談教員及び相談内容を必ず記載すること (2) **専門試験〔研究計画書〕（配点200点）**： 現在までの研究概要、入学後の研究計画について、2,000字程度で論述して出願時に提出すること ※現在までの研究概要を示すものについて論文、著書、作品などを提出してもよい。また、それらの提出を求めることがある。 （現物については審査後返却いたします。） (3) **面接試験〔個人面接〕（配点200点）**： 研究計画書の内容を中心とした口頭試問 (20～30分)

■エキスパート選抜

志願する専攻の教育を受けるために相応しい極めて卓越した知識や技能を身につけた優秀者を選抜する入学試験です。
なお、この入学試験では「特待生」を選抜する入学試験ですので、入学試験結果では、「特待合格」「合格」「不合格」のいずれかとなり、「特待合格」の「入学特待生A」であった場合、入学金を除く学納金(授業料、教育充実費、実習費)が免除となります。
「特待合格」の「入学特待生B」であった場合、授業料の50万円を超える額及び教育充実費、実習費の全額が免除となります。
(いずれも入学初年次のみ。2年次以降の授業料免除については、別に定める授業料免除のための継続条件に基づいて毎年審査を行い、条件を満たした場合に該当となります。)

＜募集専攻＞
子ども発達学専攻
＜条件＞
(1) 学部を卒業し（相当と認められる等はその条件に従う）、本研究科で修学可能な「幼児・初等教育学系領域」または「発達・発達支援学系領域」のいずれかを専攻、研究する目的と研究計画が明確であること
(2) (1)の修学・受験を見通し、出願手続き以前の段階で、本研究科に相談等を行っていること（研究室訪問、教員との事前相談等）
(3) 卒業学部における卒業研究・論文等、または活動・実践歴と入学志望動機との関係性が明確であること
(4) 学部卒業時の成績が優秀であること※1。もしくは、研究・実践・社会活動歴に優れた業績があること※2
※１　ＧＰＡ ３.３以上、卒業式総代経験者、給付型奨学金の受給者　など
※２　著書、実践研究発表、優秀教育職員表彰受賞等、所属長推薦（現職者に限る）など

＜追加提出書類等＞
・特になし

選考方法
(1) **専門試験〔志望理由書〕（配点100点）**： あなたが本学大学院を志すに至った理由や目標・目的などを800～1,200字で記入のうえ出願時に提出すること ※訪問研究室・相談教員及び相談内容を必ず記載すること (2) **専門試験〔研究計画書〕（配点：100点）**： 現在までの研究概要、入学後の研究計画について、2,000字程度で論述して出願時に提出すること ※現在までの研究概要を示すものについて論文、著書、作品などを提出してもよい。また、それらの提出を求めることがある。 （現物については審査後返却いたします。） (3) **専門試験〔卒業論文(卒業研究)またはそれに代わる教育研究・指導上の業績〕（配点：100点）**： 卒業論文(卒業研究)の場合は、コピーを2部。教育研究・指導上の業績は任意の用紙にまとめ、コピーを2部出願時に提出すること (4) **面接試験〔個人面接〕（配点：200点）**： 研究計画書の内容を中心とした口頭試問(20～30分)

教育課程

〔人間発達学研究科　子ども発達学専攻〕

科目		授業科目	履修年次	単位数 必修	単位数 選択	最低修得単位数
基礎科目		子ども学特論	1	2		４科目8単位必修
		幼児教育学特論	1	2		
		発達心理学特論	1	2		
		発達臨床学特論	1	2		
展開科目	幼児・初等教育学系領域	子ども学特演	1		2	７科目14単位以上選択必修
		幼児教育学特演	1		2	
		教育学特論	1・2		2	
		教育学特演	1・2		2	
		表現活動特論	1・2		2	
		表現活動特演	1・2		2	
		子どもと音楽特論	1・2		2	
		子どもと音楽特演	1・2		2	
		子どもとアート特論	1・2		2	
		子どもとアート特演	1・2		2	
		子どもと自然特論	1・2		2	
		子どもと自然特演	1・2		2	
		子どもと算数特論	1・2		2	
		子どもと国語特論	1・2		2	
		子どもと英語特論	1・2		2	
	発達・発達支援学系領域	発達心理学特演	1		2	
		発達臨床学特演	1		2	
		子ども臨床実習Ⅰ	2		1	
		子ども臨床実習Ⅱ	2		1	
		認知発達特論	1・2		2	
		認知発達特演	1・2		2	
		児童福祉学特論	1・2		2	
		児童福祉学特演	1・2		2	
		情動・社会性の発達特論１	1・2		2	
		情動・社会性の発達特論２	1・2		2	
		言語発達支援特論１	1・2		2	
		言語発達支援特論２	1・2		2	
研究指導科目		子ども発達学特別研究Ⅰ	1	4		２科目8単位必修
		子ども発達学特別研究Ⅱ	2	4		

※【参考】令和5（2023）年度学則設置科目

●修了要件

1　修得すべき単位数

（1）　基礎科目　　４科目８単位必修

（2）　展開科目　　７科目14単位以上選択必修

（3）　研究指導科目　　２科目８単位必修

合計　30単位以上

2　修士論文審査、最終試験合格

問い合わせ先

名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

東キャンパス
〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
西キャンパス
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地

詳しいお問い合わせについてはこちらへお電話ください

広報部 学生募集チーム **TEL [0568]24-0318**

受付時間 9:00～17:00［土日祝日除く］